

第4回栗山川流域懇談会

ツツイトモの調査状況報告

平成17年12月22日
横芝町文化会館

栗山川でツツイトモを発見

■ H13.7.15 千葉日報

・横芝町の栗山川岸边から、国のレッドデータブックで絶滅危惧 A類に位置づけられる沈水性の多年草、ツツイトモが見つかった

国レッドデータブックの区分など

絶滅	ニホンオオカミ等
野生絶滅	トキ等
絶滅危惧A類	ツツイトモ, ミヤコタナゴ等
絶滅危惧B類	イヌワシ, クマタカ等
絶滅危惧 類	オオタカ, アカウミガメ等
準絶滅危惧	ヤマメ, オオサンショウウオ等



ツツイトモ

ツツイトモが発見された場所

- 生育地は、新栗山橋(国道126号)上流右岸の堤防拡幅用地(掘削後の水溜り)



- 平成13年度から平成14年度にかけてツツイトモの生育地は大幅に減少



海匠地域整備センターの取り組み

- 河川改修工事着手までの期間を利用し、専門家の意見を聞きながら、基礎調査の実施や移植の可能性を探っている
- 現在、千葉県立中央博物館、地元専門家、千葉大学の協力を得ながら、継続的に調査を実施

これまでの主な調査結果

■ 試験移植調査

- ・栗山川本川への移植は困難
- ・坂田池公園内湿性植物園への移植結果は良好であり、現在、この湿性植物園でのみ生育している



坂田池公園内湿性植物園のツツイトモの様子

■ 再発芽等に関する調査

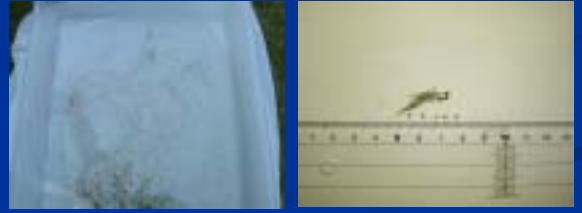
- ・生育地内の土砂を一部掘削、播き出し等を行ったが、再発芽せず
- ・過去に生育した場所では、ツツイトモ種子が水底の泥に残っている



再発芽状況の観察の様子

■ 記録保全のための調査

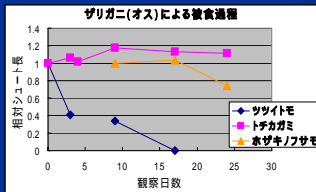
- ・ツツイトモの標本作成、県立中央博物館等で保管
- ・現在、ツツイトモの遺伝子情報を千葉大学にて解析中



標本作成のため採取したツツイトモの個体、種子

ツツイトモ消失の理由

- ヨシやガマなど他の植物による被圧
- アメリカザリガニによる被食
- 種子が重いため、堆積物(泥)の中に沈み発芽しにくい



今後の保全に向けて

- 栗山川の生育地について
 - 平成15年以降、ツツイトモの生育みられず
 - 平成18年度以降、河川河道掘削を開始予定
- 坂田池公園内湿性植物園について
 - 発芽条件の整理を千葉大学と協力し進めている
 - 今後も湿性植物園にてツツイトモを保全・増殖
- 将来、増殖個体を活用し、栗山川の自然観察園で保全していきたい